



HP

南千住 レポート



まちづくり・
くらしの情報を
とどけます

相馬ゆうこ事務所

荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX 3807-4192

✉ soumajimusyo@gmail.com

区議団控え室(荒川区役所内)

☎ 3802-4627

FAX 3806-9246

araken-nan.jugem.jp

元気と長生きを応援～区内100歳以上は90人！

21日(月)は敬老の日。区内の100歳以上の方は90人(男7人・女83人)、105歳以上は6人で、すごい！100歳以上の方は圧倒的に女性が多数です。

【地域別】	総数	75歳以上	100歳以上	75歳以上の割合
南千住	47,743	5,676	23	11.9%
荒川	34,470	4,700	10	13.6%
町屋	30,233	4,477	13	14.8%
東尾久	29,042	3,812	12	13.1%
西尾久	27,066	4,234	17	15.6%
東日暮里	32,580	3,296	11	10.1%
西日暮里	25,560	2,527	4	9.9%
計	226,694	28,722	90	12.7%

75歳以上の方の割合は、西尾久・町屋などが15%前後で比較的多く、日暮里地域は約10%で少なめです。



南千住地域では75歳以上が5,676人(約11.9%)で、100歳を超える方は男性2人・女性21人の計23人です。丁目別の人数などは下表に。南千住内でも丁目によって高齢化率に違いがありますが、各地域の高齢者施設や住宅状況など実情に寄り添った支援の検討が必要そうです。引き続き、みなさんの元気で長生きを応援したい。

【南千住の丁目別】	総数	75歳以上	100歳以上	75歳以上の割合
1丁目	4,614	635	5	13.8%
2丁目	2,871	445	0	15.5%
3丁目	5,452	439	5	8.1%
4丁目	3,631	291	3	8.0%
5丁目	5,196	646	1	12.4%
6丁目	8,223	1,123	5	13.7%
7丁目	6,499	746	3	11.5%
8丁目	11,257	1,351	1	12.0%
計	47,743人	5,676人	23人	11.9%

敬老のお祝いを贈呈



荒川区は数え年で白寿・米寿・喜寿を迎える方に、区内共通お買い物券を贈呈しています。7日(月)から順次郵送しますが、受け取れなかった方は10月1日(木)～10月30日(金)まで区役所2階の高齢者福祉課でお渡しますので、ご連絡下さい。

また、満100歳の方に5万円・100歳以上の方に1万円のお祝い金の贈呈も。

【問合せ】高齢者福祉課 高齢者福祉係 ☎3802-3111(内2677)

9/15～21 60歳以上の方は都立施設が無料

15日(火)～21日(月)まで、60歳以上の方は六義園や向島百花園など都立庭園の入園料等が無料に。21日(月)のみ都立美術館も無料で閲覧できます。対象の施設は都ホームページからご確認を。

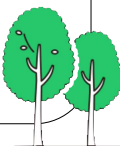


都のHP

みなさんの「あったらいいな」を実現したい

街路樹をもっと大事に

夕入の街路樹がばっさり切られて木材のようです。緑がきれいで引っ越してきたのに残念。もっと樹木を育ててほしい



街中に休憩場所がほしい

訪問介護の仕事をしています。街中に休憩できる場所があったら助かります。ひろば館は時期によって人が多くて入りづらい、ふれあい館はトイレだけ借りるのにも名前の記入を求められるので、けっこう大変です



地域交流の場を

スーパーサントクの近くに地域交流型のコインランドリーがほしい。大人がふらっと立ち寄れる、地域の核となる場所、外国籍の方との共生の場などつくっては



給食を試食したい

学校の費用負担が減って助かっています。学校給食を食べてみる機会があるといいな

子どもたちが集まって食事できる場所

夏休みなど給食がないときに、子どもが食事できる場所があると助かります。毎日ひとりで家で食べるのも寂しいので、みんなで食べられたら子どもも楽しいのでは



空き家を図書館に

身近なところに図書館をふやしてほしい。例えば空き家をリノベーションして小さな図書館をつくっては。料理の本や写真関係など、専門的な図書館にしたら面白そう



区民アンケートに、多くの方から「あったらいいな」「できたらいいな」というご意見が寄せられており、共感するものもたくさんです。息苦しいことも多い中でほっと安心できる荒川区に。

改善すべきことは区に提案、新しい取り組みは地域や民間の力も活かして、みんなで実現したい。住民が主役、ご協力もよろしくお願いします。

〈法律・生活相談〉

9月の定例法律相談日は 10日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は毎月第2木曜18時から。平日の昼間に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前と電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6・2階 ☎ 3807-4192

区議会9月会議が開会(9/14~10/14)

区議会9月会議が14日(月)・15日(火)の本会議から始まります。区民アンケートで寄せられたご意見や日頃みなさんから寄せられる切実な声とともに○災害への備えや緊急対策○くらし支援と中小事業者の営業と賃上げ支援など、共産党区議団から横山幸次、北村あや子の2名が質問します。

25年度決算は24日(木)からの決算特別委員会では、2025年28.4億円の黒字 度予算の執行状況(執行率91.4%、剰余金28.4億円を基金(貯金)に積み増しなど)について、物価高騰のもとで暮らしと営業への支援が十分だったか、区民目線で審議し、新年度予算の提案も行います。



【9月会議の主な案件】

総務企画	一般会計補正予算(第3回)	▷ ひとり親世帯の子どもの大学授業料等の補助実施のための予算を計上(8600万円)
	未来へつなぐ子ども基金条例	▷ 一般市民からの寄付金による基金を新たに創設
	小中学校の机、椅子の購入	▷ 各638台(2478万7576円)
	備蓄品の購入(計2件)	▷ 生活用品:携帯トイレ、エアマットなど(3357万6400万) 食品:アルファ米おかゆ、レトルトパン、乳児用液体ミルク、飲料水など(1億915万3915円)
	など他2件	
文教・子育て支援	財産の貸付について	▷ 南千住七丁目保育園を運営する(社)東萌会へ、土地・建物を10年間無償貸与する
	区立保育園条例の一部改正	▷ 区立南千住七丁目保育園を民設民営化し、区立園→民間園に
福祉・区民	ふれあい館の指定管理者の指定(計5件)	▷ ・汐入ふれあい館:(社)雲柱社 ・峡田ふれあい館:シダックス大新東ヒューマンサービス(株) ・東尾久本町通りふれあい館:同上 ・東日暮里ふれあい館:(学)道灌山学園 ・ひぐらしふれあい館:(株)マミーインターナショナル◆
	区立特養ホームの指定管理者の指定(計3件)	▷ ・グリーンハイム:(社)聖風会◆ ・サンハイム:(社)奉優会 ・花の木ハイム:(社)奉優会◆
	区立通所サービスセンターの指定管理者の指定(計2件)	▷ ・南千住中部SC:(社)奉優会 ・花の木ハイムSC:同上◆
	障害者福祉施設の指定管理者の指定(計2件)	▷ ・荒川福祉作業所:荒川区社会福祉協議会◆ ・荒川生活実習所:同上◆
産業・づくり	景観条例の一部改正	▷ 国の景観法改定に対応して区条例の項目を整備

◆更新

9月会議日程

9月14日(月) 10:00~本会議(各党質問)
15日(火) 10:00~本会議(各党質問)
16日(水) 10:00~総務企画委員会、福祉・区民生活委員会
17日(木) 10:00~文教・子育て支援委員会、建設環境委員会

ぜひ傍聴にお越しください



決算特別委員会

9月24日(木)~10月7日(水) 全7日間 10:00~15:00

10月14日(水) 10:00~本会議

南千住七丁目保育園が「区立」→「私立」に

9月会議で、区立南千住七丁目保育園の「民設民営」化が提案されます。

区立南千住七丁目保育園は2012年開設、区の施設を指定管理者制度で(社福)東萌会が運営してきました。指定期間は5年単位で今年度末に期限をむかえますが、来年度から事業者土地・建物を無償で貸し付け、「公設民営」から「民設民営」に切り替え「公私連携型保育所」に移行するとしています。



民営化へ 国が誘導 区は、「区立」から「私立」に移行することで国や都からの補助金が1.4億円程度ふえるとしています。これまで自民党政府は、保育園・幼稚園など公立園への国庫負担を廃止、補助



金は私立のみを対象に変更し、民間委託や営利企業の参入をすすめてきました。さらに完全民営化がすみ、全国的に公立園は減少。区も、区立園17園(区の直営11園・指定管理6園)を今後5園に減らし、指定管理6園は可能な限り「公私連携型」へ移行するとしています。

区立園17園の現在と今後は…

南千住	第二南千住	区の直営	○
	汐入こども園		◆
	南千住さくら	指定管理	☆
	はなみずき		
	汐入とちのき		
	南千住		
	南千住七丁目		
荒川	三河島	区の直営	◆
	荒川		◆
	荒川さつき		○
町屋	原	区の直営	○
尾久	東尾久	区の直営	◆
	熊野前		○
	西尾久みどり		◆
	上尾久	指定管理 (社福)上智社会事業団	☆
日暮里	第二東日暮里	区の直営	◆
	西日暮里		○

○…残す ◆…廃止or民営化
☆…公私連携型へ移行

公的責任が やっぱり大事 区は「公私連携型」園の事業者と協定を結び、私立園でも「公設園に準ずる施設」だとしており、引き続き保育環境に責任を負う必要があります。国言いなりで保育園・幼稚園を安上がりや儲け優先にせず、命と成長を守る公的責任を果たすことが求められています。

子ども第一の保育をすすめるため、保育の質と労働環境を向上させていく区の役割が改めて問われます。

ご意見・ご質問頂きました ○「子どもたちがかわいそう。世界的な異常気象や日本でも何百年、何千年に一度の災害が毎年のように起きて、これから安心して暮らせるの?」とエレベーターで乗り合わせた方の声です。ヒマラヤの氷河が崩落し、ヨーロッパではドナウ川など洪水で原発もストップ。日本でも集中豪雨で都市部でも内水氾濫と西日本ではダムが干上がっています。いま、大人たちの責任で本気の温暖化対策に踏み出す責任を痛感します。『命と環境を壊す戦争も止める』英知を!!

